

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応

<p>1. 第三者研究会の名称、開催状況</p> <p>名称：「経済成長と交通環境負荷に関する研究会」</p> <p>開催状況</p> <p>平成15年11月21日 第4回研究会</p> <p>平成16年 2月26日 第5回研究会</p> <p>平成16年 5月21日 第6回研究会</p> <p>平成16年10月 6日 第7回研究会</p>	<p style="text-align: center;">研究会メンバー</p> <p>上田 孝行 東京工業大学大学院理工学研究科助教授</p> <p>林山 泰久 東北大学大学院経済学研究科助教授</p> <p>岩倉 成志 芝浦工業大学工学部土木工学科助教授</p> <p>武藤 慎一 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科講師</p> <p>佐藤 徹治 財団法人計量計画研究所研究員</p>
<p>2. 第三者研究会での意見の概要及び対応</p>	
<p style="text-align: center;">意見の概要</p>	<p style="text-align: center;">意見に対する対応状況</p>
<p>① 土地利用・都市施策をどう反映させるか。容積率についてどう表現するか。時間的に厳しいのではないか。</p> <p>② 人口・従業者の留保層を内生化することはできないか。</p>	<p>容積率緩和については、土地供給面積を増やすことで、モデルに反映させた。</p> <p>内生化させることは困難であり、留保層は7割で固定した。</p>